



せきなん

学校だより
武蔵野市立関前南小学校
平成28年 12月号

心優しい子どもを育てる

副校長 水井美智子

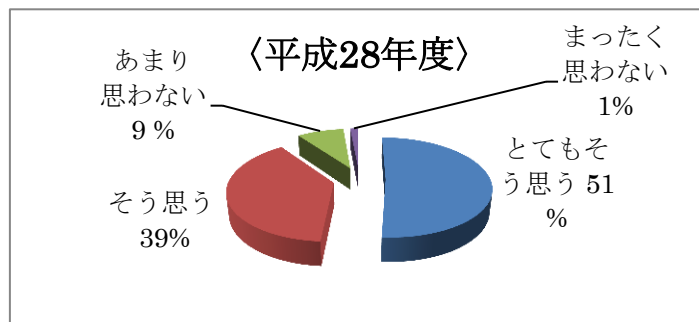
昨年の初雪は1月3日、それより40日も早く、今年は11月24日に関東地方に雪が降りました。子どもたちは、朝から大はしゃぎでしたが、校庭で雪合戦をするほどは積もらず、あっという間に初雪は姿を消してしまいました。気象庁によると、この寒気は一時的なもので、師走からの積雪量は、平年並みだそうです。子どもたちの残念な顔は、言うまでもありません。

さて先日、原発事故で福島県から横浜市に自主避難した男子生徒が、転校先の小学校2年生のころからずっといじめを受けていたという報道がありました。「放射能」「賠償金」等の心ない言葉を浴びせ、金銭まで脅し取っていたことに悲しみすら覚えました。被災した人の不幸と不運に心痛め、思いやるのが日本人、そんな日本の人情はもう失われてしまったのでしょうか。

全校の子どもたちを対象に、自分の生活を振り返る児童アンケートを行いました。その中の「楽しく生活したり学習したりしている」という項目についての回答は、次のような結果でした。

「楽しく生活したり学習したりしている」

とてもそう思う…	51%
そう思う…	39%
あまり思わない…	9%
思わない…	1%



児童アンケート
「ふりかえり表」
全校児童 270 名
(欠席2名) 集計

「楽しく生活したり学習したりしている」について、「とてもそう思う」「そう思う」と回答した子どもは90%で、10%はそう思っていないようでした。また、11月は「ふれあい月間」でしたので、子どもたちにもう一つアンケートを実施し、いじめ等の問題を把握をしました。一人一人に聞き取りもして、「友達から悪口を言われた」、「からかわれた」「嫌なことをされた」ことがあるということが分かりました。この二つのアンケートは、関係しているところがあります。友達から嫌なことをされた子どもは、決して学校を楽しみと思えないからです。「楽しいと思わない」要因がすべて友達との問題とは言えませんが、10%を0%にしていくには、人の心の痛みが分かる優しい子どもを育てていくことが大切であると思います。

先日の日曜日は、青少協の地域の美化運動でした。朝早く、ゴミを集めにビニール袋をもって歩くご家族やきょうだいの姿を見て嬉しくなりました。誰が落としたのか分からないゴミ、どこのお宅の樹木から落ちた葉かを知ることもなく、地域をきれいにしようともくもくと働く姿は美しいなと思いました。きれいに掃かれた学校周りを見て、関前地区の人達の人情は、まだまだ健在だと実感しました。

学芸会の思い出

U・T	ナレーターだったので、大きな声でいうことを目ひょうにしました。本番は大きな声で言えました。次は、ふりもつけたいです。	S・D	ぼくは、ナレーターの役でした。大きい声でいうことができたので、5年のげきにつなげたいです。はっきりいうことができたのもよかったです。
O・N	ぼくはしいく係の役を大きさにえんぎしようと思いましたが、1回目はしっばいするところもあったけれど、2回目はせいこうしてうれしかったです。	S・R	わたしのめあては、大きな声と大きなふりをするのでした。本番はお客さんがいっぱいいたけれど、できてよかったです。
O・D	ぼくは、軍人とナレーターの役をやりました。練習で動きをつけて、できないこともあったけれど、本番でまちがえずにできたのでよかったです。	S・H	「かっこよくきめるぞ。」気合を入れました。本番はあつという間でした。家に帰ると、お母さんが「上手だったよ。」と言ってくれました。
O・S	わたしのめあては「自分のせりふがなくても、えんぎをする。」でした。お母さんに、「がんばっていたね。」と言われてうれしかったです。	S・Y	ぼくは、軍人の役でした。せりふをまちがえずに言おうと思いました。本番では、大きな声で強くいうことができました。
K・K	まちがえてもさいごまで真けんに取り組むことをめあてにしました。しいく係になりきって、見ている方に思いを伝えられたと思います。	T・T	ぼくは、軍人の役でした。ぼくがホイッスルをふいて「全体止まれ」の合図を出すので、すごくきんちょうしました。大せいこうしてよかったです。
K・H	お客さんがたくさんいて、大きな声を出すことはできそうにありませんでした。でも、友だちが大きな声を出していたので、ぼくも出せました。	N・S	ぼくは、すごくきんちょうして、せりふをわすれそうになりました。でも、わすれなくてよかったです。次は5年生なので、頑張りたいたいです。
K・Y	ぼくは、本番のときに全部の力を出し切れました。体の調子が悪かった友達の分も歌えたので、ありがとうございますと言ってもらえました。	N・R	えんぎをしながら大きな声でせりふをいうというめあてを立てました。本番は大きな声でせりふをいうことができました。楽しかったです。
K・N	ぼくは、1日目にかせをひいて休んでしまいましたが、2日目には体調もよくなって出られてよかったです。次は元気に出たいです。	M・A	わたしの役はナレーターと子どもでした。リハーサルでは声が出ていないところもあったけれど、本番では大せいこうしてよかったです。
K・R	ぼくはサーカス団で、そく転がつかえないようにやりました。1回目は上手にできました。2回目はポップそく転ができるようになりました。	M・Y	わたしは見学者とナレーターの役をやりました。生きのこったぞうに呼びかけるせりふがあつて、気持ちがお客さんにも伝わったと思います。
K・S	1回目は「ぜったいだめだと思ふな」のせりふがはっきりとできませんでした。だけど、2回目は大きな声で言えて、めあてがたっせいできました。	Y・A	しいく係の役でした。本番はそんなにきんちょうしませんでした。どうしてかという、友だちが「二人でがんばろうね。」と言ってくれたからです。
G・M	わたしはサーカス団でした。すごくいいえんぎができました。大きな声ではっきりできました。5年生でもつづけていきたいです。	Y・N	ナレーターの役でした。言葉をまちがえても大きな声でいうことをめあてにしました。1日目はまちがえたけど、2日目はうまくできました。
K・K	サーカス団で竹馬と一輪車を楽しんでできました。乗客の役もやり、みんなによびかけるせりふをうまくできてよかったです。	Y・H	子どもの役だったので、「やったあ。」というせりふを大きくいうことをめあてにしました。本番では、練習のせいがかがせたのでよかったです。
S・H	お母さんが感想で「ぞうが本当にいたようでした。」と言ってくれました。だから、ぼくはよくできたと思いました。	W・M	「大きな声を出すこと」をめあてにして、たっせいできました。「こんなにつらいことがあったんだよ。」ということを伝えられてよかったです。
S・Y	ぼくはしいく係の役でした。せりふとえんぎに気持ちをこめることを意識しました。5年生になったらもっとよくしていきたいです。		



三年生の感想を紹介します

A・A	学芸会は、一生けん命に取り組んだので、大せいこうしたと思います。みんなと練習して、せりふをちゃんとと言えたからです。次回もがんばります。	N・A	他の学年の人は、きんちょうしても大きな声でせりふをいえていて、すごいなあと思いました。次は、ぼくも、大きな声でせりふを言いたいです。
A・T	学芸会は、ただえんぎしているだけではなく、気持ちをつたえることができることを学びました。次回の学芸会では、もっと大きな声を出したいです。	N・S	6年生の「夢からさめた夢」がすごく楽しかったです。ピコが白いパスポートを取られてしまうところがかわいそうと、思いました。
I・N	声の出し方を学びました。大きな声という時は、おなかから声を出すことです。次の学芸会でも、おなかから声を出したいです。	N・M	6年生のげきがすごかったです。全員が大きな口を開けて、声が出ていたからです。「マコ」の名を調べるところが面白かったです。
I・S	学芸会では、議長のやくをえんじ、目ひょうの大きな声ではっきりとせりふを言えました。次の学芸会でも、大きな声でがんばります。	H・M	6年生のげきを見て、歌やせりふをいう時が、すごく声が出ていました。次の学芸会では、よりいい学芸会にしたいです。
U・N	学芸会はとても楽しかったです。自分のせりふを、はっきりと、見ている人に伝えられたからです。次回の学芸会も、がんばります。	H・S	次の学芸会のために、もっとえんぎ力をつけておこうと思いました。他の人のせりふのときでも、えんぎをつづけることをわすれないようにします。
E・I	ソロで歌う園長のやくをして、きんちょうしました。多くの人の中からえらばれたやくなので、しっかりがんばることができて、とてもうれしいです。	F・S	5年生になったら、今回のようなすばらしいえんぎができるよう、がんばります。もっとむずかしいえんぎができるよう、練習したいです。
O・K	きんちょうしたけれど、おなかから大きな声を出せてよかったです。次の学芸会でも、おなかから声を出して、よく聞こえる声で言いたいです。	M・R	学芸会では、きんちょうしたけれど、見ている人がよく手してくれました。次回の学芸会も、がんばる気持ちをもってせいこうさせたいです。
O・K	今回の学芸会は、すごくうまくできたと思います。ぞう使いのやくで、自分の力を全部はっきすることができました。次の学芸会もがんばります。	M・K	本番はとてもきんちょうしたけれど、上手にできました。次はさいごの学芸会なので、今年のはけんをいかしてがんばりたいです。
O・T	みんなで学芸会を楽しむことができました。次回の学芸会では、もっとせりふを大きく言って、お客さんに聞こえる声でえんぎしたいです。	M・R	学芸会では、とてもきんちょうしたけれど、みんなががんばっていたので、ぼくも負けにくいぐらいがんばったから、うまいったのでよかったです。
K・A	わたしは、練習のときに、とてもきんちょうしましたが、本番はきんちょうせずに、えんぎをすることができました。5年生でも、がんばりたいです。	M・K	学芸会は大せいこうしたと、思います。大きな声を出せたと、えんぎもしっかりできました。次の学芸会も同じように、がんばりたいです。
S・S	とてもきんちょうしたけれど、上手に大きな声でできたからうれしかったです。二つのやくも、うまくできたかなと思っています。	M・Y	ぞう使いのやくで、大きな声でできました。ふりつけも上手にできました。他の学年のげきはとても面白かったです。
S・Y	思ったより声を出すことができませんでした。だから、次の学芸会では、もっと声が出るように練習したいです。	M・K	一番さいしょのせりふをいうナレーターとして、口を大きく開けて、はっきりといえました。次回の学芸会では、えんぎをがんばりたいです。
T・M	はじめての学芸会で、きんちょうしましたが、フラフープや乗客のせりふもしっかりとえんぎすることができたと思います。		
T・S	いっぱい練習して、よいげきにすることができました。次回の学芸会では、学んだことをいかして、頑張りたいです。		

今月の生活目標
グリーン月間

・進んで学校をきれいにしよう

12月の行事予定

12月の生活目標は、「進んで学校をきれいにしよう」です。学校では学年に応じて掃除担当場所を割り当て、その場に合った掃除の仕方を経験させています。さらに本校では、掃除の時間に15分間、クラシック音楽を流しています。児童は音楽を聴きながら、「拭き掃除をはじめよう。」「そろそろ机を運ぼう。」「まだ時間があるからロッカーを整理しよう。」と見通しをもって掃除に取り組んでいます。

ご家庭での掃除はいかがでしょうか。学校での経験を生かす場や時間を与えていただきたいと思います。年末には日本の年中行事の一つである大掃除があります。新年を心新たに迎える準備や、家族の一員としての自覚をさせるよい機会です。学校でも、一年の垢を落とし、普段行わない細かい所まできれいにし、新年を迎える準備をします。

(生活指導部)

図書室サポーターと読書活動

図書室には、毎日、図書室サポーターの栗田悦子先生か田村雅浩先生がいらしています。

子どもたちは、探している本が見付からない時一緒に探してもらったり、本を借りる時にアドバイスをもらったりしています。担任や専科の教員は、授業で使う本について相談したり、国語の学習に関連した図書を中央図書館から借りてもらったりしています。また、図書委員会では、図書室の仕事を教えてもらいながら活動しています。図書室サポーターの先生方がいらっしやることで、学校の読書活動はととも充実したものになっています。

12月12日(月)中休みに、子どもたちが楽しみにしている、毎年恒例の保護者による「読み聞かせイベント」が実施されます。ここでも、図書室サポーターが協力してくださり、読書活動を推進しています。

(図書室運営部)

1	木	朝読書 クラブ活動
2	金	安全指導 面談予備日
3	土	
4	日	PTAコーラス
5	月	全校朝会 栄養指導(3-1)
6	火	朝読書 避難訓練(煙体験) 関ランタイム
7	水	児童集会 あそべえミニイベント
8	木	朝読書 委員会活動
9	金	ふれあいタイム 栄養指導(3-2) 第2回開かれた学校づくり協議会 (10:00~11:30)
10	土	
11	日	
12	月	全校朝会 読み聞かせイベント(中休み)
13	火	朝読書 関ランタイム
14	水	音楽朝会(1年発表) 地区班下校
15	木	朝読書 クラブ活動
16	金	学級の時間(東京ベーシック・ドリル)
17	土	
18	日	バンドフェア
19	月	全校朝会
20	火	朝読書 関ランタイム
21	水	学級の時間 給食終了
22	木	終業式 大掃除 子ども夜回り(16:40~)
23	金	天皇誕生日
24	土	
25	日	
26	月	冬季休業日始
27	火	
28	水	
29	木	
30	金	
31	土	

※関ランタイム

火曜日の中休みに持久走を行います。具合が悪い場合には、見学とします。連絡帳で知らせてください。